
明日から君に届ける 200 字 -時の詩人-

沖荒 夢滝

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

明日から君に届ける200字 - 時の詩人 -

【NZコード】

N4872X

【作者名】

沖荒 夢滝

【あらすじ】

この詩は、今自分が思っていることを書いてあります。
初めての詩集ですがお楽しみいただければ幸いです。

たぶんちょうど100から150です WWW200字とか書いてんの
に WWW

誌の始まり 新（前書き）

（ - - ）

読の始まり 新

この小説は、200字の詩を1話ずつ載せていきたいと思います。なるべく長い連載にしたいので宜しくどうぞ！さて、この題名、Poet of The Times - 時の詩人 - を考えるのに一週間かかりました。

この作品は、初めてのパソコン・携帯両方での連載となります。

今まで投稿していた沖荒夢滝プレゼン短編小説とは、独立していますが、沖荒夢滝プレゼン短編小説でやつていい言葉集の言葉を基準にした作品も載せていきます。

詩の始まり 新（後書き）

（三、一）三

あなたが生まれた日?

OKIARARAMUTAKI
PRESENTATION

「あなたが生まれた日?」

あなたが生まれた日、地球はぐるりと回り、

あなたに朝を用意した

晴の夜を経ねさせて

卷之三

A sheet of dot-grid paper with 10 columns and 20 rows of dots. The dots are arranged in a grid pattern, with one dot in each cell of the 10x20 grid.

あなたが生まれた日?

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「あなたが生まれた日?」

あなたが生まれた日、引力はあなたを力いつぱい引っ張った。
地図二三〇かり二あなたをくつつかせた。

あなたが地球から離れないように

飛んで行つたりしないように。

あなたが生まれた日?

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION

「あなたが生まれた日？」

あなたが生まれた日、月は海に呼びかけた。

うと湯が磨せて返して湯返を湯がう

あなたが足跡を残せるよ。

A sheet of dot-grid paper with 10 columns and 20 rows of dots. The dots are arranged in a grid pattern, with one dot in each column and row. The grid is centered on the page.

あなたが生まれた日?

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「あなたが生まれた日?」

あなたが生まれた日、

あなたは泣き、地球は笑つた

そしていつか

あなたが死んだ日、

あなたは笑い、地球は泣いた。

そんな日々を送るといいのではないか？

END

100%

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION 100%

人間には100%がない
この自分ぞれど、1の分

この自分でさえ、10分後に生きている保証はない
この先1分でさえ、100%生きている保証はない

そんな世界で生きている人間
そんぶレーレを決めたのは神

不公平だ

こんな世界で生きているのも人間
人間は不公平だ

END

OKIARARAMUTAKI
PRESENTATION

「生れ」

いま、僕は生きている
前に聞いたことがある

いま、地球では3秒に1人の割合で命が生まれている
だが、2秒に1人の割合で命が失われている
僕たちはその大切な1つの命だ

その命を無駄にするようなやつはただのバカだ

END

今を生きる

OKIARARAMUTAKI
PRESENTATION

「今を生きる」

今を生きる

今三三七に付

今を生きられない人間

今を生きない人間

今を生きたくな

九三

不公平だ

END

人間

人はいつもがみ合つて
でも仲良しで
でもいつもケンカして
でも仲直りして
それを繰り返す
いつもそうやつて生きて
そして時に死ぬ
いつもそうしてゐる
そんな人間

END

46億年地球はある

その中の400万年を人類が占めてる

46 / 1 にもならなし人類

そんな人數がたった50年で地球上にいた動物を絶滅させたことが幾度もあるたつた100年で動物を絶滅させたことが幾度とある

そんな人類いるのか？

END

一
君

キミはいつも前を見ている

そんな君を見ると頭がモヤモヤする

キニせなんで

俺を見てくれないんだ

それは俺が君を見る、いいや前を見ることを怒ったつているから
そんな奴を誰が見る？

END

風

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION 「風」

風がヒューヒュー
キミの髪の毛がひらひら
君の瞳はきらきら
そんな君が
俺は好きだ
そんな俺を
キミは好きか？

END

人生

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION 「人生」

「人生」

今の自分は竹で言つなん節目だ？

たとえば10歳で1節だとこう

その節目を積み重ねるから竹はおおき

END

消しゴム

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION

消しゴム

消しゴムは字を消せる

だが、消しゴムで人生の修正はできない
でも書きたることはできる

そんなもんだろつか？

END

あなたが生まれた日?

OKIARAMUTAKI PRESENTATION 「あなたが生まれた日?」

あなたが生まれた日、森の木は木の葉の中二

太陽を集めた

そして静かな不思議な力で酸素を作つた

空気を吸い入れる好み

四庫全書

あなたが生まれた日?

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「あなたが生まれた日？」

今日、いま、この時を生きているのはなぜか

それはあなたが生まれたからだ

うふ二ガ三テ八必サレば

いも、LRのときはない

今このときは生まれたからある

花柳の花に水木の三物力

E
N
D

いつか

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「いつか」

いつか君は僕のこと忘れちゃうよね？

いや、それが普通

卷之二

そへが本音

そんな本音をキミは受け入れてくれる？

その詩は一枝

「あつがひ

つて言いたいな

END

Let's Go!

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION 「Let's Go!」

わあまえに

一步を踏み出すんだ

今の自分より

未来の自分を見たいだらう？

たかひ

誰もあなたを邪魔しない

誰もあなたを意気地なしなんて言わない

一步前に踏み出せば、

END

ありがとう

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「ありがとうございます」

ありがとう

この言葉は日本は最も必要な言葉だ

母國では

シェイシェイ

この言葉は世界共通だ

卷之三

氣持ちがいい

END

* * * * * * * * * *

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「時には」

時には頭を休めるクリッシックなんてのはどうだ?

「光」

モーツアルト

「見聞会の絵」

「四季」春・夏・秋・冬

ヴィヴァルディ

四

END

一
友

今、わかれてしまつた友はどこにいるか・・・

桜が咲くのと同時に君はいなくなつたね

卷之十一

卷之二

今度は桜が散るときに再会しようなー

END

今までの

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION

「今までの」

今までの時を振り返つてみると

いろいろなことがあつただろう?

自分だつたら中学一年の時の11月2日はもう来ない

セイウチの事件

その思ひと

これから的人生の生き方が変わらないか?

END

いたずらな

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION

「いたずらな

いたずらな神様が
僕にいじわるした
いたずらな神様が
僕に試練を与えた
「生きる」という
とても大きな試練
いたずらな神様が
世界に試練を与えた
「世界平和」という
叶いつこない試練
そんな試練を
かなえようと頑張つ

人間

END

平凡

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION 「平凡」

平凡に生きている

中学生といつ試練

つまらないうま

寝て、起きて、学校行つて、

寝て、起きて、学校行って、部活して、ご飯食べて

そんな平凡な世界

世界を作ったのは神様
だが、未来を作るのは自分

かが未来を作るのに自分
そう思つて世界を見てみた

あると

いつもとは違つた。

廿四史劄記

END

* * * * *

OKIARARAMUTAKI
PRESENTATION

「君との」

キ!!と会えない時間がこんなにつらいなんて

今までに知らなかつた

ノイズの問題

今井でおりぬけ

いつもいつも
一緒にいたから

キミと会えない時間がこんな

今までとは違う時

キニに会したしな

三

* * * * *

神様は自分を作った
神様は地球を作った

神様は日本を作った

そして

神様は何度も日本を救つた
神様は何度も地球を救つた

神様は何度も自分を救つてくれた

ならば

自分は誰を救える？

END

思いを

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「思^{おも}いを

キミへの思いを伝えたい

11

でも、この思想の仕方自体を常に見直すには、

勇気を出すんだ

思いを伝えないほうがよほど卑怯だ

思いを伝えなきや始まらない！

「すっ好きです！」

END

やつてゐる

OKHARAMUTAKI PRESENTATION 「やつてみる」

指と舌の力で、口の中を舐め回す

でも、やつてみなければ

結果はどう出ても
何も始まらない

やつてみんなもや始まらない

やらなければそれで終わるんだ

やつてみなせやー！

END

世界は平和だ
と言つたら
嘘になる

嘘になる

北野天香集

卷之三

つま
り

世界は普通だ

それではいけない！！

そう思わないか？

EN
□

「子孫」

自分は大人になる

そして王侯たるまれる

また子供が生まれる

その子供が大人になれば

そして生命はつながっていく

EN

END

一
昨日

昨日こなせなかつた

卷之三

今日はある

今田こなせなかつた

明日にひがる

それがいつか

未来につながっていく

作田がひ詠つた

未来への階段でもある

1183

未来は自分で作る

END

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

日記

今日はただの

田記の1ページかもしれないけど

明日になれば2ページになる

明後田になれば3ページになる

一九三五年一月一號

10年間書き続ければ3650ページになる

それは

人生の積み重ねもある

日記は人生の積み重ねだ

END

涙

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION 「涙」

君との別れが近くなるにつれて

君との別れの日にも

たくさん

泣いた

笑つてお別れしようと決めたのに

涙なんかキミに見せたくなかつたのに

やつぱり泣いたな

笑つて、強がりを

END

ジャッジペーパー

OKIARAMUTAKI PRESENTATION 「ジャッジペー」

テニスのジャッジペーパーみたいに
未来二回かっこいい漢から書き留め

ただ、元気に向かっていき僕らもまたあらわれて

素早い動きで林三を倒せば
ジャッジペーパーのは増えて行く

その
ように
いつでも

卷之二

素早い動きで1点取つたら
未来へのジャッジペーパーも
は多くつくよな

END

風
?

OKIARARAMUTAKI
PRESENTATION

「風？」

風が僕らの関係を後押しした

風か君と僕との

同上

風がそつとなぐさめてくれた

۱۰۷

ヨリモ風は懸めてモレタたのかな

卷之三

風は僕と同じ気持ちの寒い風を放つた
さみしそうに ヒューッと

END

風
?

風は氣まぐれ

空を飛ぶ

野を超えて山を越えて

僕の気持ちを後押しする

月日錄卷之二

僕を冷たくぬらす

風は気まぐれ

夏には署ぐ

ルート新幹線

暖かい、
気持ちのいい

風か吹く

風は氣まぐれ

B
N
□

お円さま

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「お円さま」

ねえ、なんで円はあるこの?
なんぞだらうねえ・・

いつからお円さまはあるの?

皆が生まれるずっとずっと前から、いつからかあつたんだよ

ねえ、なんでお円さまって名前なの?

それはね、人間が勝手にお円さまっていう名前を付けたからだよ、
もしかしたらお円さまはわたしはこんな名前じゃない、もつとかつ
こいい名前だというかもしれない

誰も本当の名前を知らない

また

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「また」

キミと別れた次の日、

気づくと僕は君のうちの前にいた

楽しかった思い出が、僕をキミの家まで連れて行つた
未来の君との想像図…

僕のせいで別れてしまった、悪かったと思つても、もう謝る必要が
ないと思い込ませて、心のどこかに捨てていた
でも、

頭のどこかでは覚えていて、キミに会いたい、キミに謝りたい、
そんな気持ちが芽生えたんだ
勇気を出して、キミに謝らなくちゃ！

友情

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION

「友情」

初めて声をかけた時

君は「宜しく」って言ってくれたよね。

君にとつての友情ってなんだい？

僕にとつての友情つて・・・

いつでも分かち合えて、時には喧嘩をしても、仲直りして、それまで以上に友情が深まっていくことかな。

君にとつての友情を

僕は聞かないけど、

いや、聞きたくないんだ・・・

なんか怖くてさ・・・

君にとつての友情を聞くと、僕との関係が崩れる気がしてさ

「この日」が

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION

「この日」が

クリスマス

この日が近づくと・・・

いつも思う。

今年は君とどう過ごすかなど・・・

君の喜ぶものをプレゼントするかななど・・・

ただ君と一緒にいてあげようかななど・・・

派手に飾りつけをして、君をよろこばせようかななど・・・

でも、

君の本当に喜ぶのって、

何をしてあげればいいのかなど・・・

君に聞いてみようかなど・・・

僕は何をしてあげるか

自分で考えればいいのかな

わからないなあ

「心の中では

僕の心の中では、

君のことしかないんだ。

うれしかった時も、

さみしかった時も、

つらかった時も、

悲しかった時も、

いつも

いつも君はそばにいてくれた。

手をつないで、横に座つてくれた。

もしも君が

つらく、悲しくなつちやつても、

その時はきっと

僕がそばにいてあげるんだ。

きっと、きっと

僕がそばに、いてあげなくちゃいけない気がするんだ・・・
となりに座つてね。

僕らの

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION

「僕らの

僕らのクリスマス。

一緒に過ごすと決めたクリスマス。
付き合い始めの僕たちは、
まるで、初めてのクリスマスのように、
ただ、うれしくって・・・
楽しみで、

ずっと大切な思い出として、誓っていた。

「クリスマスの記念日」

何故だかうれしかった。

無邪気に笑い合っていた小学生のころから、
君はかわいかったよね。

そんな君と、クリスマスを迎えて、
僕は幸せだよ

聖夜の夜に

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「聖夜の夜に」

聖夜の夜に、

君に伝えたいことがあるんだ
ずっと言えてなかつた。

本当に些細な一言。
いつも言おうと思っていたのに、
いつも言えてなかつた
ごめんね？

でも、これだけは伝えなきやダメな気がするんだ。

いつも、まぶしすぎる君の瞳
そんな、そんな君が、

僕は、

「大好きです」
この一言をずっと言いたかつた
言えてすつきりしたよ。

それと同時に、もっと君が好きになつたよ

メリークリスマス！

OKIARARAMUTAKI PRESENTATION
「メリークリスマス！」

メリークリスマス！

君に会えて、君と一緒にクリスマスを迎えた
本当にありがとう。

君に会えたことが、一番のクリスマスプレゼントだよ
運命を変えてくれた神様、ありがとうございます。

本当に、感謝しかできない。

そんな僕に、君がそつと

「来年もいっしょにいようね」

と問いかけてくる。

僕には、ただ、ただ

「わかつたよ」

とうなずくしかなかつた。
うれしそぎでね

これで 終

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「これで」

これで、もしそうが終わつても
僕の記憶、君との記憶は残る。
たとえ君が別れてくれつて言つても

僕の記憶には、きちんと思い出が刻み込まれてゐる。
楽しかつた思い出も、悲しかつた思い出も。
そのすべてが、

僕の大切な人生なのかな・・・
君はそんなことは言わないよね?
いや、言わないでほしい。
君との大切な日々が、
一生続きますように。
一生の最後に「・」を打とう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4872x/>

明日から君に届ける200字-時の詩人-
2011年12月25日19時52分発行